

地中熱利用冷暖房システム



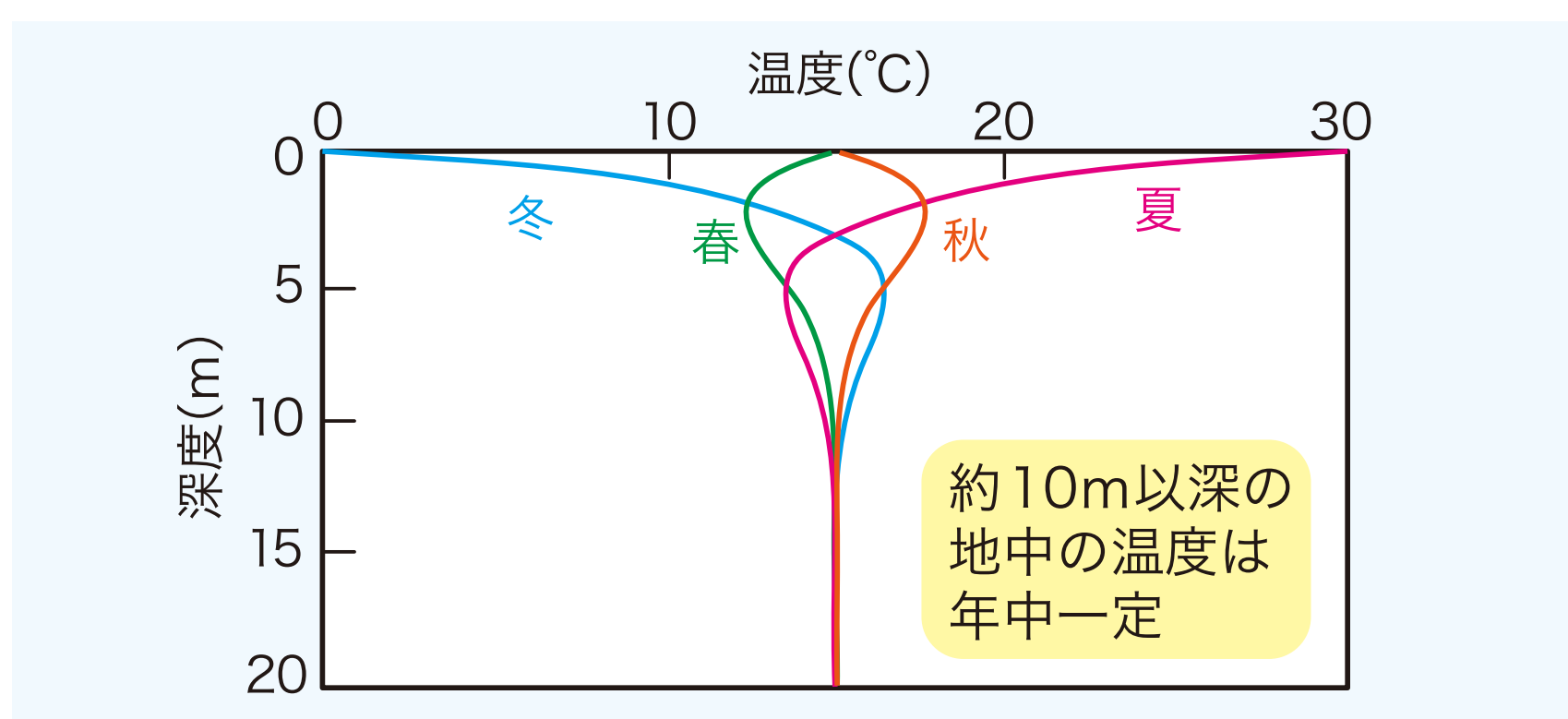
地中熱は再生可能エネルギー

システム仕様

- 地中熱HP：10KW(GSHP-1022X)×1台
- 採熱方式：ボアホール方式75m×2本
- 冷暖房方式：除湿型輻射冷暖房機×6台

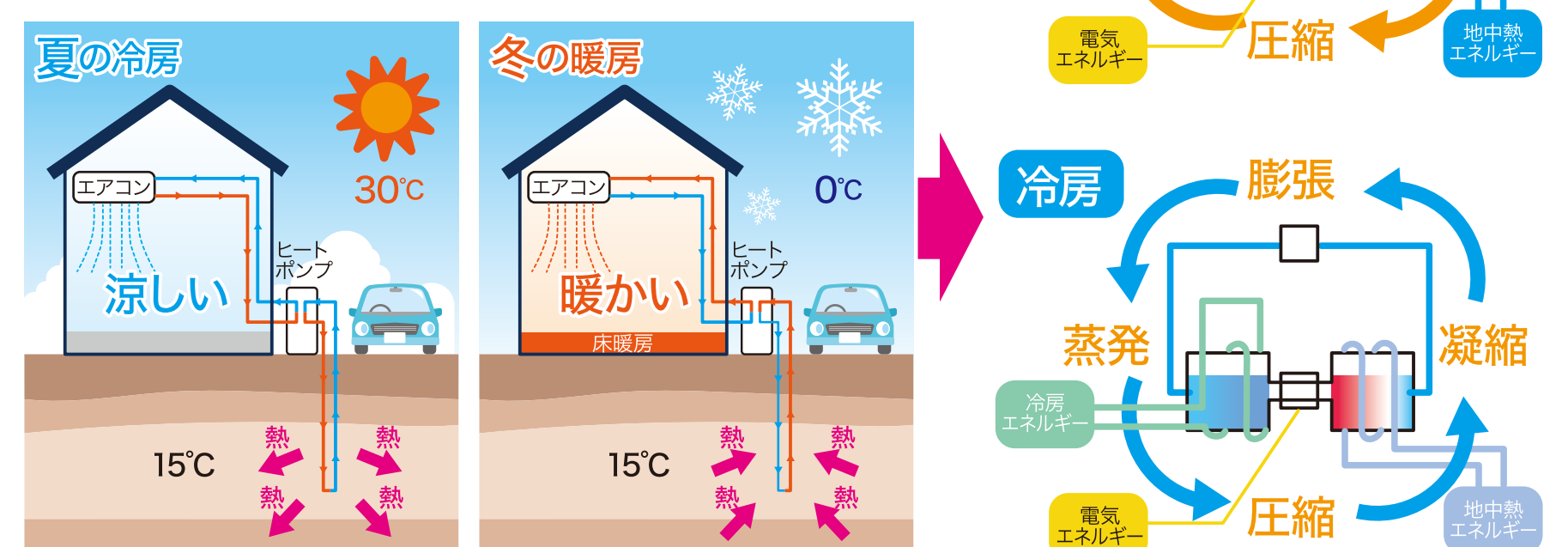
地中熱とは

地中熱は私たちの足元にある再生可能エネルギーです。深さ10mくらいのところの地温は、年平均気温にほぼ等しくなっています。地中の温度は一定であり、夏は気温より低く、冬は気温より高いという特徴があります。



地中熱システム冷暖房の仕組み

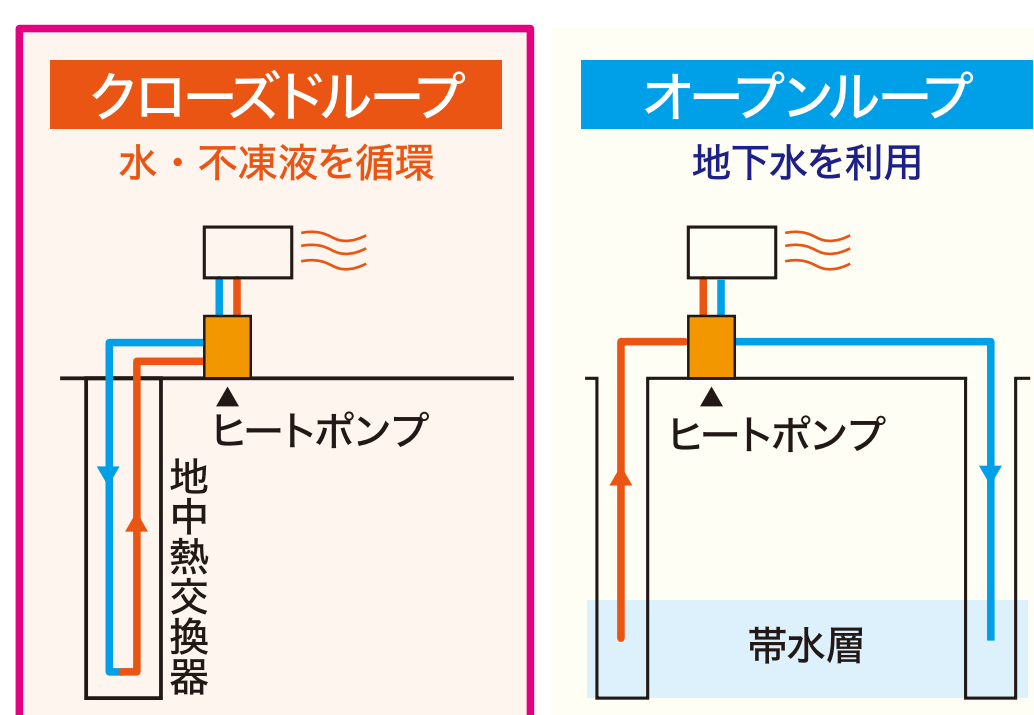
地中熱はヒートポンプを利用することで、空気熱に比べて夏はより低い温度、冬はより高い温度を基に冷暖房を行うため、熱交換効率が良好で機械運転の大幅な節電=CO₂の削減に繋がります。



地中熱の利用方法

ヒートポンプシステム

住宅・ビル等の冷暖房・給湯・プール・温泉施設の給湯・道路等の融雪、農業ハウスの冷暖房など



深度20m～100m程度までに不凍液を循環させる地中熱交換器を築造し、ヒートポンプでの熱交換に利用するもの。日本全国、設置する場所を問わないのが最大の長所です。

地中熱利用が貢献できること



2015年に国連で採択されたSDGs (Sustainable Development Goals) は、持続可能な社会をつくるための17のゴールからなり、環境・社会・経済の諸問題が包括的に取り上げられています。地中熱利用は17のゴールのうち7つに貢献することができます。(左図参照)